

2024 年 8 月
No. 470 号

第32回 元気が出る森松展

2024.

9.12~13

(木)

(金)

10:00~17:00

森松本社 5F

#LOVE PLASTIC

～艶美なコレクション～

PVCs collection



森松 HP



www.morimatsu.com



今回毎年好評の講演会を
内容・講師を代えて 2 日間行います!!

9/12：最近の塩ビの状況

9/13：タイヨー 3R
プロジェクトについて

両日 15 時より、お楽しみに！

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

より近くなった宇宙

森 直樹（代表取締役社長）



今回で 32 回を迎える、元気の出る森松展ですが開催まであと 2 ヶ月を切りました。今回はテーマを“#LOVE PLASTIC”～艶美（えんび）なコレクション～として皆様に我々の取り巻くプラスチックシート・その他関連の情報をお届けします。コロナ禍も明け、昨年以上の盛会となることを期待しております。一昨年に種子島の宇宙センターを訪れる機会があり、海風の吹くなかロケット発射基地の巨大さと自然の風景のコントラストに、しばし時間を忘れて眺めていた記憶があります。ふと宇宙開発とそのビジネス市場について調べてみると、改めてその将来性が楽しみになりました。2022 年の時点で世界の宇宙ビジネス市場規模は約 80 兆円、2040 年までにはこれが 150 兆円規模になることが予測されています。宇宙ビジネスと一言で言っても、ただロケットを打ち上げるだけに留まらずロケットに積み込まれた人工衛星を使った通信事業や観測事業、一般の方が宇宙空間を体験することのできる宇宙旅行、そして老朽化した衛星等宇宙ゴミの回収も一つの事業として考えられます。そしてさらに技術が進めば、宇宙からの資源の採取というのも可能になるでしょう。もちろん、我々が販売している商品が宇宙空間にて使われる、という可能性も十分にあります。果たしてどのような商品が求められるのかはこれからの話になりますが、問題解決、課題解決の手段として我々が商品を提案できるかどうかは、ひとえに高いアンテナを張れることができるかどうかにかかっているでしょう。視野を高く広く持ち、次の時代を創り出していきます。

ありがとうございました！

牧野 光昌（企画営業部）



私の入社日は3月2日という中途半端な日でした。私の入社面接をした当時の社長の森信之氏に面接の時に『学校はいつまで行くんだ？』と質問されたので、3月1日の卒論の発表会が終われば翌日から卒業式の前日まで休みです、と答えたら『じゃあ3月2日から出勤して下さい』と言われました。昭和のベビーブーム時代を生き抜いてきた若干32歳の森社長の下で昭和時代が円熟を帯びてきた1978年3月2日が初出勤の日となりました。当時はビニールロッカーと学習机用デスクマットが全盛の頃でした。業界ではダッコちゃんに次ぐ昭和のヒット商品だと思います。（ちなみに初出勤当日は前日の発表会の打上げで飲み過ぎ、大幅に遅刻して夕方5時の出勤となりました。反省！）毎日何時に仕事が終わるか分からないけれど、残業前に入る素うどん1杯で10時でも11時でも頑張るのが昭和のリゲイン集団でした。さらに就業とともに『飲みに行くぞ！』の号令がかかり、焼き肉屋へ繰り出すのでした。どこにこの活力があったのかは、いまだに不明ですが、週末になれば『気が付いたら朝』なんて事はざらでした。そして、弊社で年末恒例の家族忘年会が始まったのが1981年、社内報『波紋』の創刊は1985年7月、そしてここから日本はバブル時代に突入して行きました。1987年10月に第1回米国研修旅行制度（1回3～4名で研修）が開始され毎年2回ほど、合計で10数回の海外研修が行われました。ほぼ英会話が出来ないメンバーでしたのでトランジットやチェックインなど緊張の連続でした。1990年7月に名古屋市南区丹後通に新社屋が完成。現在の本社ビルです。そして翌年5月にバブル崩壊。少しバブルっぽい話題もありますが、我々の業界はさほどバブルの恩恵は受けていなかった気がします。だから浮かれる事も無く堅実にこれたのだと思っています。1993年10月第1回『元気が出る森松展』開催。以降31年間毎年継続中。1996年7月に中国上海市に上海事務所開設。1996年10月東京営業所開設。1997年6月四川省成都市に合併会社「四川義信文化用品有限公司」設立。1997年8月森松株式会社のホームページ開設。この頃からグローバルな方針で進んで行ったイメージです。『第1回BDPフェア』の開催、東京ビックサイトの『環境展』への出展、『波紋』のデジタル配信、マスコットキャラクターの『モーリン』誕生。『プラスチック甲冑の製作・販売』、『アメリカ研修旅行』の再開。2022年7月創業70周年を迎えました。2024年若い社員も着々と育ってきており、令和の森松へと変化していております。そして、2024年7月31日牧野光昌は退社します。多くの人に巡り合いました。全ての皆様に感謝です。本当にありがとうございました。

4年に一度の祭典

村橋 敦士（総務・経理）



今年は、4年に一度のオリンピックがフランス・パリにて7月26日から8月11日までの17日間、3週間余りの期間中に何と32競技329種目が行われます。新たにブレイクダンスが新種目として登録され、前回の東京オリンピックではスケートボード、スポーツクライミング、サーフィンが新種目となり、その1回目となるスケートボードでは10代の女性が金・銅を取った事が記憶にある人もいるのではないのでしょうか。また、スケートボードに限らず、女子ボクシング・卓球・体操・野球と10代から20代前半の選手の活躍が目立ち、メダルを獲得しました。今回のパリオリンピックにも新しいスターが誕生するのではないかと期待しています。バスケットボール・卓球・サッカー等は、日頃からテレビ放映が多いが故に、注目度は高いと思いますが、テレビ放映がない様な普段目にする機会が少ない競技でも、一流のプレーを見る事ができるのがオリンピックの醍醐味であり、新しいスター、メダリストの誕生が楽しみです。一方で、オリンピックは感動的な瞬間が

数多くあるだけでなく、選手のインタビューの中から名言も同様に数多く生まれてきました。印象に残っているのは、田村亮子選手の「最高で金、最低でも金」、北島康介選手の「チョー気持ちいい」、「なんも言えねえ」、冬季オリンピックでカーリング女子の「そだねー」等、記憶に残っています。選手たちがどんなプレーを見せてくれるのか、楽しみではありますが、同時に、どんな名言が生まれるのかにも注目していきたいです。ちなみに、パリの次はアメリカ・ロサンゼルスで、夏・冬合わせて9回目になるそうです。野球・ソフトボール、フラッグフットボール、クリケット、ラクロス、スカッシュ等が新たに加わる予定との事です。フラッグフットボール、どんな競技なんのでしょうか。楽しみです。



東京建築祭

河嶋 桂子（東京オフィス）



今年5月25・26日に、東京の日本橋、丸の内、銀座エリアを中心に、「東京建築祭」なるイベントが開催され、出掛けてまいりました。建築の祭りと聞いてもすぐにイメージが湧かないかと思いますが、その実態は普段関係者しか中に入れない建築を一般公開し、自由に見学ができるようにするというものです。この情報を知ったのがギリギリでしたので、申込の必要なガイドツアーは満員でしたが、東京を代表する18の建築が無料で特別公開されるという注目のプログラムがあり、そちらに参加出来ました。知る人ぞ知る名建築や、東京駅や三越日本橋本店といった誰もが知る建築の、普段は見ることができない姿が見れるとあって、楽しいひとときでした。ただ思いのほか暑さの厳しい日で、またまた予想外に混んでいて1時間以上も入館に並ぶところもあり、地図を片手に順番も考えながら回りましたが、全ては行けませんでした。その中でも築地本願寺は広大な敷地内に厳かに伝統を感じる、素敵な空間でした。古代インドの仏教寺院、西洋建築、日本を含むアジア各国の要素を複雑に組み合わせた独特な建築で、先ずはその独創的な装飾や空間に目を奪われましたが、建築としてのポイントはあの時代に複合ビルとして建てられた点が革新的という事でした。本堂、講堂、貴賓室といった各機能が統合されてひとつの建築としてつくられています。当時の寺院建築では分棟で建てられていますが、木造ではなく、鉄筋コンクリートが登場したからこそ可能になった形式で、知識がなくても伝統的なお寺とは違う面白さを感じることが出来ました。またすごいのは、結婚式や法事、宗教的な行事などが行われている時でも一般人が出入りできる大らかさがあって、場を開くことに意識的な建築は、宗教建築でも珍しいのではと思いました。今まで建築が特別好き、という訳ではありませんでしたが、率直に面白いと感じ、2日連続で回りました。面白いという心の動きの基本は、自分が今まで知らなかった、新しいものに出合うことかなと思います。知らないものに出合う喜びは、旅にも通ずるところがありますね。建築を見つめていると、普段の街歩きも旅をしているように楽しくなる気がしました。

ワーキングホリデー

加藤 遥（企画営業部）



昨年5月から1年間ニュージーランドにワーキングホリデーに行っていました。ワーキングホリデー（ワーホリ）とは日本と協定を結んでいる（29か国）国の一般的な生活様式を理解する機会を提供するため、その間の滞在費用を補うための就労が可能なビザです。日本に帰国してから出稼ぎワーホリというワードが話題になっていることを知り、ニュージーランドの最低時給は日本円に換算するとおおよそ2,300円。その一面だけ見れば魅力的に思えるかもしれませんがただ、その国に滞在できる期間が1年と限られた短い貴重な時間の中で、いろいろな国の人の価値観、国によっての

文化の違い、日本の良さの再認識など日本で得ることができない経験はたくさんあります。私自身も毎日たくさんの方に助けをいただき日々の生活を送ることができました。制度の趣旨と違った一面でネガティブな話題になり賛否両論ありますが、何事も一点だけにとらわれず広い視点で物事を考え、当たり前だと思わずに感謝の心を忘れないようにしたいです。ニュージーランドでのマイホーム購入は最低1億円から。ワーホリで稼げると思うかどうかは考え方次第です（笑）



熱中症に気をつけよう！

今年も暑い夏がやってまいりました。

熱中症予防には水分・塩分・睡眠環境・丈夫な体作りだけではなく、日々の生活の中で暑さ慣れをしていくことも熱中症予防の1つです。

環境省では熱中症予防サイト

(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)

にて熱中症警戒情報をメール配信する機能を活用してみるのはいかがでしょうか。

また、熱中症になってしまったと疑われる場合には図を参考にして応急処置をすることにより

症状の軽減を図れるようになることも重要なことです。

熱中症の応急処置

チェック1 熱中症を疑う症状がありますか？

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛
不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害
痙攣・手足の運動障害・高体温

はい ↓

チェック2 呼び掛け応えますか？

いいえ

救急車を呼ぶ

はい ↓

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

↓

チェック3 水分を自力で摂取できますか？

いいえ

はい ↓

水分・塩分を補給する

↓

チェック4 症状がよくなりましたか？

いいえ

はい ↓

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう

医療機関へ

時の流れ

清水 亮太（企画営業部）



わたしが在宅勤務となり1年2か月が経過しました、これも社内での協力体制とお取引様のご理解があつてのことだと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。また8月で入社4年目になります、時が経つのは早いな、とつくづく思います。気が付けばわたしが入社後10名ほどの後輩ができ、自分が先輩だと意識はできていませんが責任ある行動を心掛けていきます。話は変わりますが、日本には四季があります、四季があるからこそその季節を楽しむことができます。「食」「花」「旅」「音楽」「ファッション」etc 連日うだるような暑さが続いています。夏”といえは皆さんは何をイメージしますか？わたしは「食（魚）」です、タチウオ・アジ・スズキ・カンパチ・カツオ。



趣味で海釣りをするのでこれらが釣れてくると夏の到来を感じます。季節性のある魚を追い求めることで、ワクワクドキドキ・飽きがなく・旬を食べておいしく・妻や両親に振舞って喜んでもらって、釣りライフを楽しく送ることができています。本格的に海釣りを始めて7年目、時が経つのは早いな、とつくづく思います。時が経つのが年々早くなることを”ジャネーの法則”というらしいです。1歳のときの一年は全人生の1/1、5歳のときの一年は全人生の1/5、50歳のときの一年は全人生の1/50と、時間の経過の早さは年齢に比例して加速すると言われています。打ち破るには夢や目標を持ち常に新しい事に挑戦し続けること。人の価値観は人それぞれ、早い遅いではなく自分が納得できる時間を、人生を、過ごしていきたいです。